

【特集】新しい総合計画がスタートしました！



「好き」があふれる。
『私のまちいなべ』



令和8年度～令和17年度

第3次いなべ市総合計画

いなべ市ホームページから
ダウンロードできます▼



総合計画は、いなべ市の行政運営における最上位計画であり、市民と行政が共通して目指す10年後の将来像を掲げ、長期的なまちづくりの方向性を示すものです。

第3次いなべ市総合計画の大きな特徴として、「行政改革大綱」を一体的に策定した点があげられます。

特集 新総合計画 # 01

みんなの声

～令和6年度調査結果概要～

市民満足度調査をはじめ、小学生や中学生、高校生、事業所、市民活動団体など、たくさんの皆さんから意見をいただき、計画策定の基礎資料としました。その一部を紹介します。



Q いなべ市は住みやすい？

A 「とても住みやすい」
「どちらかといえば住みやすい」の合計値
◎市民（回答 1,301 人）…67.4%（前回比- 1.2%）
◎中学生（回答 337 人 ※市内在住者のみ）…91.1%（前回比+ 16.3%）
◎高校生（回答 22 人 ※市内在住者のみ）…90.9%（前回は調査無し）
※「前回」は、令和元（2019）年度調査。以下同様。

Q みんなの幸福度は？

A 幸福度（10点満点）の平均値
◎市民（回答 1,301 人）…6.60点（前回比- 0.07点）
◎中学生（回答 341 人）…7.62点（前回比+ 0.21点）
◎高校生（回答 68 人）…6.94点（前回は調査無し）

Q 住みやすいと感じる理由は？

A 住みやすさの理由（上位3項目）
◎市民（住みやすいと回答した 876 人）
①「自然に恵まれているから」…77.3%
②「友人・知人が多いから」…48.2%
③「住民が親切で人情味があるから」…33.0%

Q いなべ市への愛着は？

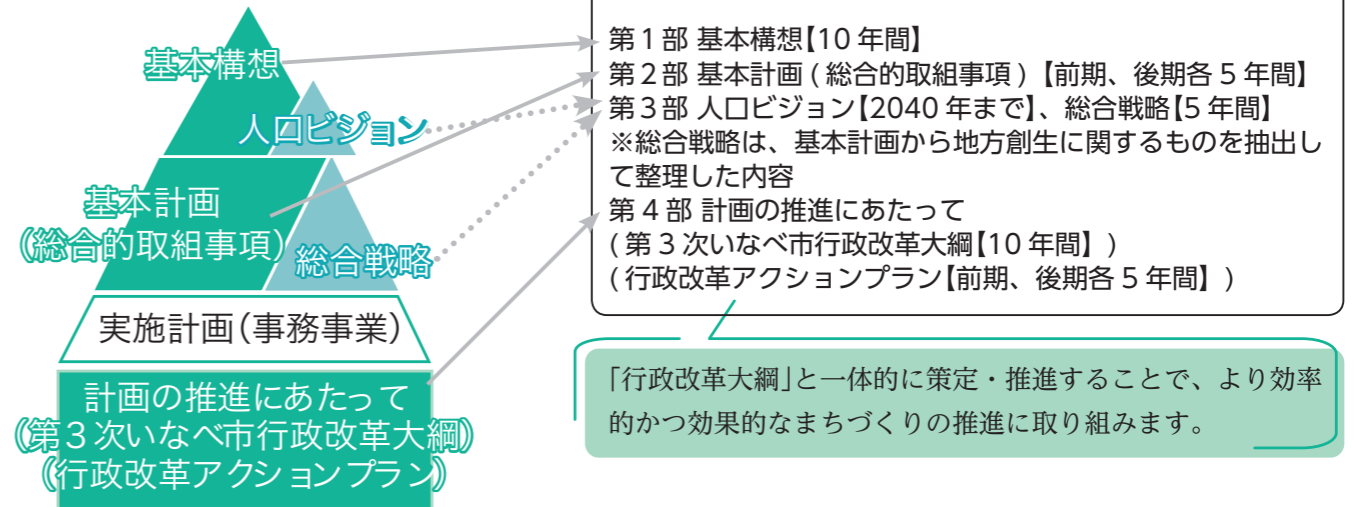
A 「感じている」と回答した人の割合
◎市民（回答 1,301 人）…60.1%（前回比- 3.0%）
◎中学生（回答 341 人）…80.1%（前回比+ 9.5%）
◎高校生（回答 68 人）…55.9%（前回は調査無し）
※市内在住（22 人）に限定すると 86.4%

中学生は、平成26年度の前々回調査結果（58.5%）と比べると、この10年間で、20%以上の増加となっています！

特集 新総合計画 # 02

第3次いなべ市総合計画の構成と特徴

総合計画の構成



特集 新総合計画 # 03

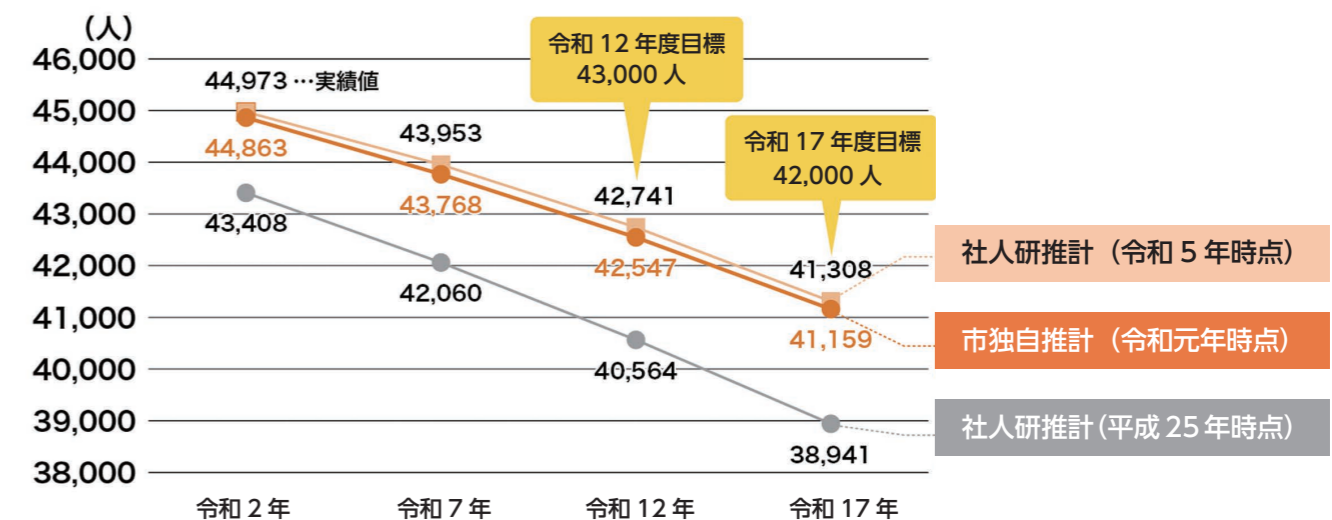
いなべ市の将来人口推計と目標人口について

令和6年度の東海環状自動車道いなべインターチェンジ開通を機に、企業活動のさらなる活性化が期待されています。

また、将来を担う若者から選ばれる総合的な取組を推進するとともに、全ての市民が誇りと愛着を持てるまちづくりを進め、令和12年の総人口を43,000人、令和17年の総人口を42,000人と設定します。

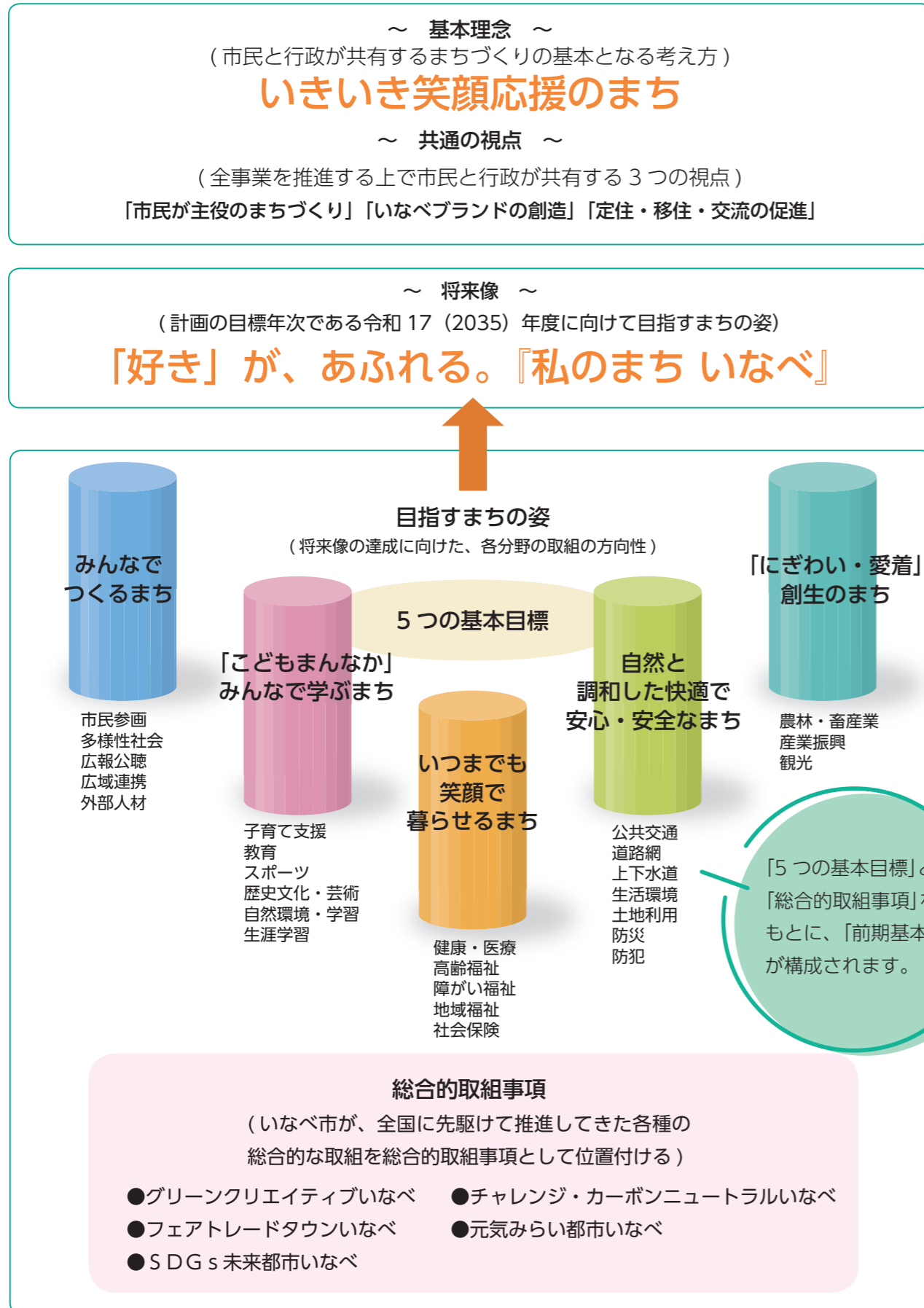


将来人口推計（国立社会保障・人口問題研究所推計及び市独自推計）



第3次いなべ市総合計画の概要

■ 第3次総合計画の概念図(基本構想より)



いなべ市独自の取組(総合的取組事項)

近年、まちづくりのさまざまな分野で複雑化、多様化が進行しています。いなべ市は、こうした社会潮流に対応し、まちづくりの新しい取組を積極的に推進してきました。取組の規模や対象はさまざまですが、こうした総合的な取組には、一体的な推進体制が必要となるため、総合計画の中で「総合的取組事項」として位置づけ、評価検証を行いながら効果的に推進します。

1. グリーンクリエイティブいなべの推進

「グリーンクリエイティブいなべ」は、平成27年度に、いなべ市が独自で掲げた視点です。いなべ市にある、自然や農、食、アウトドア、アート、ものづくりなどの地域資源を生かし、人々を魅了するモノ・コト・トキの創造に取り組む活動すべてを含めて「グリーンクリエイティブいなべ」と呼んでいます。

中学生、高校生調査でいなべ市の魅力の第1位に輝いた「にぎわいの森」でのさまざまな活動も、「グリーンクリエイティブいなべ」の取組になります。

今後も、さまざまな活動を通して、いなべ市のにぎわいの創出や交流人口の拡大に取り組んでいきます。



2. フェアトレードタウンいなべの促進

「フェアトレード」とは、途上国の原料や製品を適正な価格で購入し、立場の弱い人々の自立を目指す国際的な取り組みのことで。

いなべ市は、令和元年に日本で6番目のフェアトレードタウンとして認定され、市民団体「いなべフェアトレードタウン」をはじめ、行政、商店、学校などが連携し、フェアトレードの普及とエシカル消費の推進に取り組んでいます。

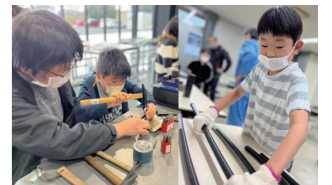
今後も、市民、企業、商店、行政などが一体となり、フェアトレードの普及、啓発活動を支援します。活動を通じて、地域活性化や交流の機会の創出、市内の経済循環の促進を図ります。



3. SDGs未来都市いなべの推進

「SDGs (Sustainable Development Goals)」は、平成27年度に国連において採択された持続可能な開発目標です。持続可能で多様性のある「誰一人取り残さない」社会の実現を目指し、経済や環境保全・脱炭素など、幅広い分野の課題に取り組む国際社会全体の目標です。

いなべ市は、令和2年度に「SDGs未来都市」に選定されて以降、先駆的なたくさんの取組を続けてきました。今後も、令和12年度のゴールに向けて、経済、社会、環境の3つの側面のバランスのとれた、持続可能なまちづくりを推進します。



4. チャレンジ・カーボンニュートラルいなべの推進

いなべ市は、令和4年7月7日のクールアースデーに、「ゼロカーボンシティ」を表明し、「チャレンジ・カーボンニュートラル いなべ」を掲げ、脱炭素社会の実現を目指しています。

いなべ市の豊かな自然と調和した環境を次世代の子どもたちに引き継いでいくために、市民や地域、事業者と一体となって、2050年までに二酸化炭素排出量実質ゼロに向けた取組を推進します。



5. 元気みらい都市いなべの推進

元気みらい都市いなべは、全世代の健康づくりを起点に、人とまちの「元気づくり」を創出する一連の取組の総称です。市民や団体、専門家、企業の連携を通じて、世代別の健康づくりに取り組んでおり、市内外の多様な主体の新たなつながりを創出しています。

近年では、千葉大学と連携し、いなべ市庁舎エントランスに「いなべ Step+10cm (いなべステップテン)」を設置したり、「いなべげんき応援あぶり いなべる」を開発したりしています。

今後も、全世代に向けた健康づくりの取組を、多様な主体の参画・連携を通じて、総合的に推進します。



—この計画に基づき、いなべ市の未来を進めていきます。 問 政策課 T 86-7741